



第127号  
館報

# 鞍月

鞍月公民館

視聴覚広報部  
金沢市直江南1丁目1番地  
TEL 237-6446 FAX 237-6224  
<http://www.spacelan.ne.jp/~kuratuki-k/>  
発行日／令和6年3月31日



## 鞍月の絆・結集

### 館長この一年

鞍月公民館 館長 戸水 利紀

元日に発生しました令和6年能登半島地震により、多くの方が被災されましたことに深い悲しみと心痛を覚えます。この地震により亡くなられた方々とそのご家族に対し、心からのお悔やみと哀悼の意を表します。また、被災されたみなさまには心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興と皆様の安全・安心の生活が戻られることをお祈りいたします。鞍月校下でもご実家や親戚の方が被害にあわれたり避難されてこられた方もおいでと聞いております。心からお見舞い申し上げます。

私も館長を拝命し1年が過ぎました。そこで、令和5年度を振り返ってみたいと思います。4月3日、池田主事から田嶋前館長の訃報が届きました。まさに青天の霹靂でした。田嶋前館長とは私が20歳ころからの40年以上のお付き合いがあり、館長1年生のこれからいろいろとご指導いただこうと思っていた矢先でした。本当に驚きまた悲しい出来事でした。謹んでお悔やみ申し上げます。

5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまで、「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」が、「5類

感染症」相当になりました。この3年間は公民館活動にも様々な制約があり、苦しい期間でした。お陰でふれあい体育祭やスマーフェスタ、文化祭、金沢マラソン2023などもコロナ前の通常どおりの開催ができるようになりました。校下のみなさまのマスクのない明るい笑顔が戻ってきました。他にも、市民ソフトボール大会において鞍月公民館は第3位入賞でした。

しかし、令和6年1月1日。だれもが想像すらできないような事が起こりました。幸いにも鞍月校下は比較的被害が少なかったようでしたが、自然災害の恐ろしさを改めて強く感じました。この中でも、「二十歳のつどい」や「立志のつどい」は予定どおり行うことができ、次代を担う若い人たちの姿から力をもらいました。

さて、令和6年度はどういう年になりますでしょうか。能登半島地震の復旧、復興にはまだまだ長い歳月が必要となると思われますが、これからも鞍月校下のみなさまに愛される鞍月公民館として職員、公民館委員一同頑張って参りますので、なにとぞよろしくお願ひいたします。





恩師の先生も  
祝ってくれました



岡崎 慎一  
先生



塗谷 健司  
先生











